



守口小だより

令和2年9月30日

第17号

守口市立守口小学校

発行者 横山 美香

朝夕は、すっかり涼しくなり秋の気配が感じられる季節となりました。
6月から分散登校で始まった令和2年度の授業。子どもたちは、慣れない新しい生活様式で過ごす学校生活、本当によく頑張りました。本日、通知表を子どもたちが持ち帰りました。お子さんと一緒にみていただき、頑張ったことをほめていただけたらと思います。



10月からは、なかよしタイムや校外学習など、感染症対策を考慮しながらですが、実施していきます。現在、大阪府における感染者数は少し減っていますが、感染症対策は、継続していきます。毎日の健康観察も引き続き、よろしくお願いいたします。



手を洗おう

ギガスクール構想

GIGAスクール構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図り、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

これまでの教育実践の蓄積

× ICT

=

学習活動の一層充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

「1人1台端末」ではない環境

一斉学習

- ・教師が電子黒板等を用いて説明し、子供たちの興味関心意欲を高めることはできる



学びの深化

個別学習

- ・全員が同時に同じ内容を学習する（一人一人の理解度等に応じた学びは困難）



学びの転換

協働学習

- ・グループ発表ならば可能だが、自分独自の意見は発信しにくい（積極的な子はいつも発表するが、控えめな子は「お客さん」に）



「1人1台端末」の環境

- ・教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる
→ 子供たち一人一人の反応を踏まえたきめ細かな指導等、双方向型の授業展開が可能に



- ・各人が同時に別々の内容を学習できる
- ・各人の学習履歴が自動的に記録される
→ 一人一人の教育的ニーズ・理解度に応じた個別学習や個に応じた指導が可能に



- ・一人一人が記事や動画等を集め、独自の視点で情報を編集できる
- ・各自の考えを即時に共有し、共同編集ができる
→ 全ての子供が情報の編集を経験しつつ、多様な意見にも即時に触れられる



(文部科学省HPより)

ギガスクール事業は、守口市においても進められています。

夏休み期間中に、校内 LAN の回線工事や教室の電気工事などが行われました。また、児童生徒用1人1台のタブレット端末が、11月より6年生から順次搬入される予定です。

現在、学校では、タブレット PC を活用した授業や、オンライン授業の体験実施ができるよう、取り組みを進めているところです。



《ワールドクラス始業式》

9月8日（火）午後3時30分より多目的室で、ワールドクラスの始業式を行いました。今年度で4年目を迎えるワールドクラス。11か国（中国、シンガポール、ドイツ、スコットランド、イタリア、ナイジェリア、フィリピン、韓国朝鮮、トルコ、ベトナム、タイ）でスタートします。10月から、月に1回程度、民族講師の先生方や守口小学校の教員がホームに分かれるなどして、子どもたちと一緒に学習していきます。



1年生：水遊び



6年生：ナップサックづくり



4年生の花壇のへちま。実が大きくなってきました。



4年生：世界のいろいろな国の衣装が描かれています。



1年生：クラッカーからいろいろなものが飛び出しています。

3年生：素敵な器に
おいそうなパフェ
がたくさん並んで
います。

